

健やか広場 ▶ 年に1度は健（検）診を受けましょう

町の特定健診の対象者

与謝野町国民健康保険加入者
(30～74歳)、生活保護世帯

※ 社会保険加入の40～74歳の被扶養者の方は、会社等から発行される「特定健康診査受診券」を提出すれば、町の特定健診を利用できます

※ 75歳以上の方は、後期高齢者健診となります

身近に潜む生活習慣病

高血圧や脂質異常、高血糖などの生活習慣病は、自覚症状がほとんどなく進行していきます。進行的な状態から治療を受けるよりも、早い段階から生活習慣の改善や治療にかかるほうが、治療費や通院にかかる時間、心身への負担も軽減できます。

特定健診は、メタボリックシンドローム（以下、「メタボ」）の発見と予防が目的です。メタボ

特定健診

「忙しくて健診を受ける時間がない」「健康だから、若いから大丈夫」と健診を後回しにしているませんか？
健診結果は体からのメッセージ。生活習慣を見直す機会に、町の健（検）診をご活用ください。

は、過剰な内臓脂肪が原因で、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病にかかりやすくなる状態です。放置すれば、脳梗塞や心筋梗塞などにつながる恐れがあります。血圧や血液検査、腹囲などから、体からの病気のサインを早期に発見することができます。与謝野町国保特定健診受診者の健診結果から、40、50歳代で血圧および血糖、脂質のリスク保有者が増加傾向にあるので、若いうちから健康管理を心がけましょう。



コロナ禍だからこそ受診を

生活習慣病は、新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク因子とされています。健（検）診は、不要不急の外出ではありません。コロナ禍でも安心安全に受診できる体制を整えています。

がん検診

2人に1人はがんになる時代

がん検診を受診することで、死亡率が減少することがわかっています。受診する主なメリットは、次の2つです。



● 早期発見・早期治療による効果
● がん以外の病気も見つけられることができ、治療に結び付けることができる

がんを早期に見つけることが目的ですが、がんになる前段階の病変（ポリープや潰瘍など）が見つかることがあります。見つかった病変は、必要に応じて治療すると、がんを予防できます。がん検診は、低い確率で起こるデメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されていますので、定期的に受診しましょう。

がん検診はご加入の医療保険に関係なく、年齢が該当していれば対象になります。

※ 検診によっては、隔年受診などがありますので、送付している申込書をご覧ください

受診無料

健診申込書を送付しています

令和4年4月1日時点で、20歳以上の女性、39歳以上の男性（与謝野町国民健康保険加入者は30歳以上）を対象に各種健診申込書を送付しています。20～39歳の女性で、令和3年度に子宮頸がんや骨粗しょう症

検診を受けられた社会保険加入の本人様は、検診対象外となるため健診申込書の発行はありません。与謝野町に転入して対象者に該当する方、または健診申込書を紛失した方は、保健課（☎43-9022）までご連絡ください。

健診申込受付

5/31 火



がんばってます！消防団

編集 ● 本部

▶ 新幹部、新入団員に辞令を交付 ～ 14人の団員が新たに入団 ～

4月3日、野田川森林公園において、令和4年度与謝野町消防団辞令交付式を行いました。今年は、1期2年の1年目となり、山添町長から木村正典団長に辞令が交付されました。その後、木村団長から幹部と新入団員に辞令を交付し、新入団員を代表して

第6分団の浪江信明団員が「不公平並びに偏見をさけ、何人も恐れず良心に従って忠実に消防の業務を遂行することを厳粛に誓います」と力強く宣誓し、14人の団員が消防団員としての新たなスタートをきりました。

● 新入団員紹介（令和4年4月1日付け、敬称略）

▼第2分団 塩見 彰
▼第3分団 山岡 岳志
▼第4分団 今田 裕介
▼第5分団 伊達 宏之
▼第6分団 伊達 大智
▼第7分団 川合 大晴
▼第8分団 三上 璃久
▼第9分団 小柴 雄揮
▼第10分団 小西 貴政



宣誓書を読み上げる浪江団員

▶ 火災発生時における出動区分

火災発生時は北部と南部の2つの地域に分け、その地域に属するすべての分団と、隣接する分団が出動します。

火災発生場所	出動分団
岩滝地域	北部地域の全分団
山田地区	北部地域の全分団と第5分団
石川地区	北部地域の全分団と第5・6分団
幾地・四辻地区	南部地域の全分団と第3・4分団
温江・明石・香河地区	南部地域の全分団と第4分団
三河内・岩屋・箕所・加悦奥・加悦・後野・与謝・滝・金屋地区	南部地域の全分団

※ 第1～4分団が「北部地域」、第5～10分団が「南部地域」です

